

～プリンスリーグ最終節を終えて～【2024/10/05】

道央プリンスリーグ最終節が赤井川都運動公園サッカー場で行われました。3年間様々な大会で対戦してきた小樽桜陽高校との最後の試合、そして全道大会前最後の試合ということで色々な想いを抱えながら試合に向き合いました。試合開始早々、両チーム共にいつも以上に声が出ており、一進一退の時間が流れました。前半21分、コーナーキックを決められて、リードを許しました。その後、点数が動かないまま前半終了。後半に入り、失点からのスタートになりましたが、後半19分、1年・小林(小樽長橋中)がゴール前に送ったパスを1年・信田(小樽長橋中)が決めました。しかし、失点が立て続けにあり、チームとして悪い雰囲気になりましたが、後半終了間際、3年・青山(小樽菁園中)が蹴ったキックオフを3年・馬場(小樽長橋中)がダイレクトシュートを決め試合終了。2対4で敗戦となり、課題を残してしまう試合内容となりました。3年生は次の全道大会で引退となります。

小樽水産 vs 小樽桜陽
前半(0-1) 後半(2-3) 計(2-4)

会場準備や運営、審判をしていただいた関係者の皆様方、対戦していただいた小樽桜陽高校サッカー部の皆さま、応援して下さった皆さまに感謝申し上げます。

【大会の様子】

